

2017 - 18年度 RI テーマ



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary International
国際ロータリー会長
イアン H. S. ライズリー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

変革の時代、創造のとき。
新たな一歩で感動を！

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：大松 桂右
●幹 事：高岡 正和
●会報委員長：安田 憲司

今週のプログラム

第2167回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「奉仕の理想」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 第5回クラブフォーラム
国際奉仕委員会部門
辻盛 英一国際奉仕委員長
- ⑦ 閉会 点鐘

★例会後：第27回IMRD実行委員会

*2/17(土) 第2回クラブ社会奉仕委員長会議

於：大阪社会福祉指導センター
登録9:30～ 会議10:00～11:50
大橋 秀造本年度社会奉仕委員長
中澤 剛次年度社会奉仕委員長 出席予定

来週の予定

八尾東RC 創立45周年記念例会

第2168回移動例会 2月23日(金)

*45周年記念例会開催の為、時間・場所変更

於：スイスホテル南海大阪

35階 ベルビュー

- ・17:00 例会運営担当等、係りの方は集合
- ・17:30～18:00 受付
- ・18:00～ 例会

☆卓話

「ロータリーで学んだ人生のタテ軸とヨコ軸」
国際ロータリー第2660地区 パストガバナー
大阪西南RC 大谷 透氏
・例会終了後：祝宴スタート

前週の例会記録

2018年2月9日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2166回	28名	15名	68.2%	出席義務免除 7名(出1)
第2164回	28名	20名	87.0%	補 填 5名

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：毎週金曜日13時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

ニコニコ箱

●吹田西RC 榎原様ご訪問ありがとうございます。

浅井会員、本日の卓話ががんばって下さい。

大松 桂右会員

●浅井さん、卓話楽しみです。 大橋 秀造会員

●浅井さん、「私の履歴書」楽しく聞かせて頂きます。

桑田 タア子会員

●今回合計 3,000円

●累計 576,580円

会長の時間

IMRDの開催も近づき、準備等に追われていますが、45周年事業でもありますカローリング大会についても同時に準備しなければなりません。

5月19日(土)に八尾市総合体育館ウイングのメインアリーナにて開催しますが、100名を超える参加者を目標にしております。

現在、大会の案内チラシを作成しており、3月初旬にはチラシ配布を始める予定です。

参加者の募集や準備、当日の運営など一人でも多くの方の協力が必要となりますので、会員全員参加して頂きますようお願い致します。

幹事報告

【回覧】

① ローター一手帳申込表

申込みされる方は、事務局までお願いします。

1冊¥648です。

② 東大阪RC創立60周年記念誌

【地区献血のPR】

●地区社会奉仕委員 榎原 一滋様(吹田西RC)

ローターアクト主導で年2回献血活動を行っており

ます。今年度、第1回は7月23日に行われ、398名の受付で318名の採血という結果となりました。

次回、第2回の献血では2月25日(日)に梅田・なんば・京橋・くずは・大日の5箇所を実施いたします。

詳細については、実施日が近づきましたら、メールなどで事務局に発信致します。

現状、血液在庫が少なくなっていますので、より多くの皆様にお越し頂き、ご協力頂きますようお願い申し上げます。

卓話

「私の履歴書」

浅井 寿徳会員



まず初めに、私の生い立ちから紹介させていただきます。

私は生まれも育ちも、八尾の恩智で、祖父母、また父母はこの地域では盛んな行商の花屋と農業との兼業で営んでおりました。

そんな家庭の中で私は次男として、1985年10月2日に生まれました。

まず父母と兄弟について少しお話しさせていただきます。

私の父は婿養子として大東市から、この八尾の地に嫁ぎ、母は実家のあるこの八尾の恩智で後継ぎとして、今現在も兼業農家を行っています。

母は昔から良く働く明るい話好きな商売人で、また少し細かいところもあり、百姓根性みたいなところもありますが、本当にいつでも尊敬している母親です。

父は私が生まれた当時、農協に勤めておりました。父もまた、負けん気の強い人間で何においても、良く働く人です。

兄は3歳年上で、幼少期からよく私と遊んでくれ、何処に行くときもいつも一緒についておりました。

そして小さい頃特に印象強く残っている事があるのですが、それが祖父のアルコール中毒です。しかし、祖父とは悪いことばかりでなく、凧あげやコマ回しをしたりとよく遊んでくれたことや、私のお世話をよくしてくれ、お酒以外は本当に色々な事を体験させてくれました。

また良い事なのか悪い事なのかわかりませんが、祖父のおかげで今でも兄や私はお酒がめちゃくちゃ苦手です。

その後、私もある程度大きくなり、中学生の頃ぐらいからか、まあ兄と比べてももともと素質がないのか・・・勉強が苦手で、性格も真逆のコツコツするタイプでしたので、この流れで行くと当然ながら、私がこれから先の農業を手伝う事になると思っていました。

私は進学の時期に向かっていき、高校は機械設計が好きになっていたので将来は工業系が良いと考え、工業大学を目指すことと決め、付属高校に入学しました。

しかし、将来の事を考えていると、家業があるしどうせ後継ぎになると思って、もともと勉強が苦手でしたので努力もせずに甘えが優先し、そのまま大学へ進学せずに簡単に諦めてしまい、また大学は卒業したものの、どうせ後継ぎになるから、とりあえず花屋にでも就職しておこうという考えになってしまい、夢も希望もなくなただただその現状を日々送っていました。

まあ甘えた気持ちで、色々と変わっていったこの三・四年でしたが、ある日突然、兄が農地を活かした老人ホーム施設の運営を考えていることをいろいろと話をしてきたのですが、最初の頃は私はそんな夢のような話があるのかと耳を疑っていました。

しかしその後、会社設立の話や経営の話などの打ち合わせを兄と進めていく中で、不安半分、好奇心半分で聞いていたのですが、実家の花屋もこれから先かなり厳しい状況でしたし、私自身その他に夢が無いわけですからもちろん事業をする方

で答えました。

兄がいろいろと模索している中で、その時に出会ったあるデイサービス経営者が、これからますます高齢社会となっていくますし、制度そのものが、ちょうどその当時高専賃が廃止となり新たにサービス付き高齢者向け住宅の補助金制度ができる事も決まったので、これからの土地活用では、施設の方が十分利回りもあるし、尚且つ介護事業経営をする事で地域貢献となるため「是非やってみては」と、その経営者との運命の出会いがきっかけで、私の福祉事業のはじまりとなりました。

しかしそれまでに、母にはそういった事業は理解されず猛反発され、納得してくれるまで大変でした。母は百姓一筋で、代々大切にしてきたその土地を、この事業を行う事で失うかもしれないと事業開始まで不安そうでした。私自身も今となっては、本当に先祖を初め父母皆のおかげだなといつも感謝しております。

父はまた養子という事もあり、違ったのですが、実家がもともと福祉事業をしていたので、すぐに理解をしてくれました。

少し施設の話になりますが今現在介護施設を開業して、ありがたくも6年目に入りましたが、まあ、皆様もご存じの通り、どこの介護施設も同じく、職員不足がかなり深刻な悩みになってきております。現在の介護業界だけですが有効求人倍率も4社に3社は採用できない状況らしく、これはバブル時代に匹敵するぐらいの異常な数字らしいのです。また介護の専門的な学校でさえ閉校しているところもあると聞いております。2025年には介護人材は37万人の人材不足となる予測で、これはうちの施設であれば常時3人が不足するといわれております。

また、もう少し前からたくさんの施設を確保出来ていけば、人材の確保もし易いのですが、一つの施設しかない為、現状を維持するだけでも結構な体力が必要で、まして福祉サービス事業となると人の命をお預かりしておりますので、職員不足によるクレームや事故は避けられないですし、会社としても致命

傷だと考えております。

事業開設前は職員不足がまだそこまで言われて無かったように思いますが、開設当初は職員さんの確保がいくらかでも選考可能なぐらい簡単に行えておりました。

また一方で、介護施設が今後多く建設される中で、今後は入居者が選ぶ時代になっていく、従って資質向上を目指し選ばれる施設へとならないといけないと言われておりましたし、私自身もそう思っておりました。

確かに大切な事ではあると思いますが、しかし今では、今後の行政が言うビジョンの機能訓練に特化しADL 低下の予防や介護等の資質向上を目指すそんな所か、このまま慢性的な介護職員不足であれば、最低限の施設業務しか行えませぬし、あるいは職員さんの確保が困難な介護施設は必ずつぶれます。そうなる資質うんぬんではなく、入居者様が選べる所か入居の受け入れ先がなくなるケースが増えてくるのでは無いかと思っています。

まあ最近では経営破綻してもM&Aをする会社がふえてきておりますから何ともいえませんが・・・。

(とはいえ職員の絶対数が足りないわけですから難しい課題だと思います・・・)

現在も施設では、職員さんを福利厚生や、あの手この手で手厚くし第一にコミュニケーションを大切に働きやすい環境をと、人間関係を大切にしております。

もちろん説得しても退職されるケースはよくありますし、常に求人をかけているのですが先ほども申し上げましたが、来ないのが現状で、今後はいかに離職を食い止めるかが一番の課題となっております。

またこれからは、ボランティアさんや学生さんそれからシニア世代の方々にも積極的に関わっていくような取り組みを行っていかないと、本当にいけない時代だなと思っています・・・。

海外派遣労働者も検討している中で最近話題となっておりますが、海外労働者側も選ぶ時代が来ると言われているみたいで、そういった現状で本当に今後

はどうしていこうか、うちの施設も時代の波に乗れるのか不安な気持ちもあります。

こういったこともまた当時は知りえることがありませんでしたし、経営してこそ実感できることで、良い経験となっております。そういったところで本当に毎日が勉強させて頂ける、また小さな零細企業ではありますが運営をがんばっております。



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB